

事務事業評価における総括

部 局 名	消防本部	記入責任者	小澤 幸雄
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>消防本部の評価対象となる政策的事業は 25 事業です。そのうち 17 事業で「S」評価、4 事業で「A」評価とされていることから、おおむね順調に進捗しています。残りの事業については、台風や新型コロナウイルス感染症の影響で「実績なし」となったものが 2 事業、計画はあったものの事業費や実施時期などの調整により未着手となった「Z」評価が 2 事業となっています。「S」評価以外の事業は、すぐに成果が表れ難く継続性を要する事業や、実施時期の調整を図るなど庁内連携を進めることで成果の見込める事業と判断できますので、これらの事業においても継続的に取り組む必要があると考えています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>「Z」評価とした警防救命課の消防団車両等整備事業及び消防団活動施設整備事業については、関係課との事業スケジュールの調整や厳しい財政状況を踏まえたうえで、事業着手時期の先送りをしましたが、整備計画の修正や仕様の見直し、建物の点検を行い、修繕の優先順位を決定するなど、事業着手に向けての準備を進めました。消防施設・消防車両などのハード整備は、消防力の強化に重要な施策と捉えていますので、今後も引き続き、効果的な整備ができるよう調整を進めます。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>消防本部では、一部、目標に至らなかった事業はありますが、全体的に見て事業は順調に進んでいると評価しています。進捗が順調な事業は引き続き、継続して成果を出していくとともに、目標に至らなかった事業については、必要に応じて事務改善や関係課かいとの調整を行いながら円滑に事業が実施できるよう取り組みます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策に資する事業については、継続して進めていきますが、再度全体の事業の根本的な見直しを行い、事業スケジュールや実施方法など、関係課かいとの連携を密に円滑な事業着手に努めます。</p> <p>さらに、安全で安心なまちづくりを担う部局として、火災による被害の軽減を図るための啓発活動や救命に関する知識・技術を広く普及する取り組みを継続するとともに、消防体制の充実強化と市民サービスの向上が図れるよう政策・施策目標の達成に向けて業務を進めます。</p>			